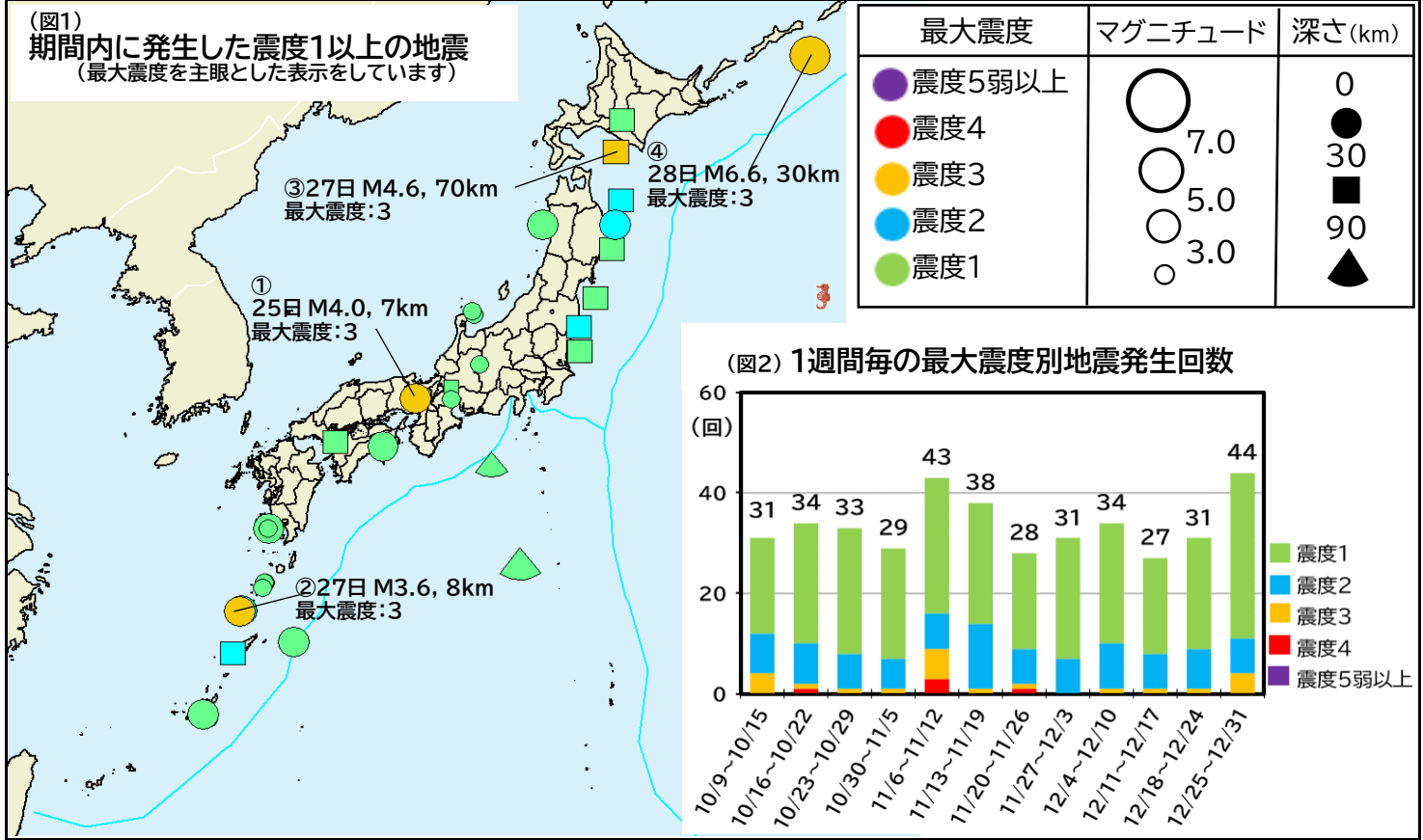


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

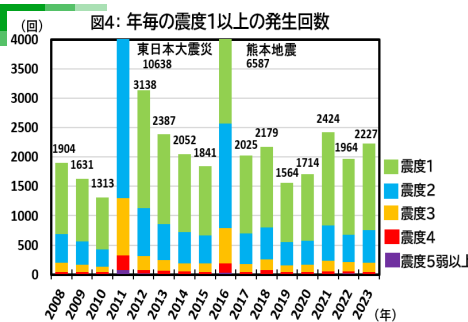
■ この期間、震度1以上の地震が44回発生。最大震度は3。■

- ①12月25日04時42分に兵庫県南東部で発生した地震(M4.0、深さ7km)により、兵庫県丹波篠山市で震度3を観測したほか、滋賀県から兵庫県にかけて震度2～震度1を観測。
- ②12月27日02時00分にトカラ列島近海で発生した地震(M3.6、深さ8km)により、鹿児島県十島村宝島で震度3、小宝島で震度2を観測。この地震は9月の悪石島から小宝島にかけての活動域とは異なり、宝島西方沖で発生したものの。
- ③12月27日07時53分に浦河沖で発生した地震(M4.6、深さ70km)により、北海道安平町、むかわ町で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2～震度1を観測。
- ④12月28日18時15分に択捉島南東沖で発生した地震(M6.6、深さ30km)により、北海道新ひだか町、浦河町で震度3を観測したほか北海道から宮城県にかけて震度2～震度1を観測。

トピックス

■ 2023年の地震活動 ■

- ・昨年1年間に震度1以上を観測した地震は2227回で国内まんべんなく発生しています。
- ・最大震度は5月5日に能登半島北東部で発生したM6.5により石川県珠洲市で観測した6強でした (表1、図3、図4)。



- ・昨年の地震活動の中で目立ったのは、能登半島北東部とトカラ列島近海で、その概要は以下のとおりです。
- ・最大震度6強を観測した能登半島北東部の地震活動は、2018年頃から地震回数が増加傾向となり、2020年末から活発な地震活動が続いている。2020年12月1日から2023年12月31日までに震度1以上を観測した地震は506回。最大規模の地震は5月5日に発生したM6.5で、珠洲市で震度6強を観測した。地震調査委員会は、一連の地震活動は当分続くと考えられるとの見解を示している。

・トカラ列島近海(悪石島近海)では、9月8日頃から地震活動が活発となった。活発な活動は1週間程度で収まり、9月8日から9月30日までに震度1以上を観測する地震が346回、震度3以上を観測する地震が27回発生した。最大規模の地震は11日に発生したM5.3、深さ18kmで、悪石島で震度4を観測した。この付近(宝島～小宝島～悪石島にかけて)では、時々、発生場所を少し変えながら活発な地震活動が見られる。

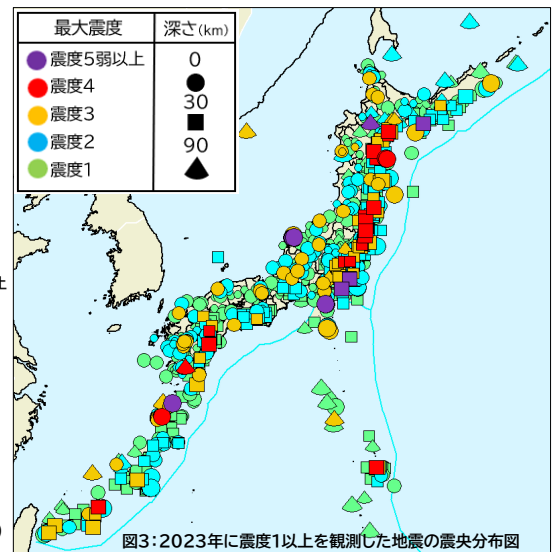


表1: 2023年の最大震度別回数

最大震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	1471	559	156	33	5	2	0	1	0	2227